

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		シエル		公表日		2026年 3月 13日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		活動スペースは利用定員に見合った広さを確保しており、活動や遊びが安全に行えるように環境を整えています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		シッターサービスを活用し、職員の配置数が適切であるようにしています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		全てがバリアフリーではないですが、活動スペースやトイレまでの動線などはフラットで安全な構造です。室内は活動内容や一日の流れを視覚化し、見通しが持てる表示をしています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		毎日、清掃や消毒をして子どもたちが心地よく過ごせるように心がけています。また、室内に危険な場所がないかも確認をしています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	1	4	個別の部屋や場所はないのですが、うまく空間を使って1人で過ごしたり気持ちを落ち着かせる場所を提供しています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5		週に一度、ミーティングを行い、業務や支援内容の振り返りを行っています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		年に一度、保護者向け評価表を実施し、保護者からの意見や意向があった際は職員で話し合い、改善に繋げています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		毎日の終礼や定期的なミーティングなどで個々の意見を把握し、業務の改善に努めています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5		センターの巡回時などで業務について相談し、改善を図っています。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		外部研修の他にも事業所内で虐待防止研修などを定期的に行い、研修の機会を設けています。		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		発達状況に応じた適切な支援プログラムを作成しています。ブログ等とおして公表しています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		定期的のアセスメントを行い、個々の児童に対して保護者のニーズや課題を踏まえた上でカンファレンスを行い、支援計画書を作成しています。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		支援計画書を作成するにあたって、職員全員で中間評価やカンファレンスを行い、支援の方向性を話し合っています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		計画書は職員全員に共有し、計画書に基づいた支援が行われるように共通理解を図っています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		フォーマルなアセスメントにより発達水準の把握を行い、日常の支援経過記録や遊びの場面などで個々の適応行動の状況を把握しています。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		児童発達支援ガイドラインに基づくと共にアセスメントや保護者の意向を反映しながら具体的な支援内容を設定しています。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		チームで話し合い、立案しています。		

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		半年に一度、活動プログラムの担当を替えて、季節の行事なども取り入れながら固定化しないようにしています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		子どもの状況や発達に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ計画書を作成し、支援を行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		朝礼での確認、企画書の提出などで支援内容や役割分担についてチームで共有し、支援を行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		終礼でその日の支援の振り返りを行い、職員全員で共有しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		子どもの様子や支援内容について支援経過記録に記載し、支援の改善に繋げています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		定期的にモニタリングを実施し、目標についての評価をおこない、計画書の見直しが必要な場合はその修正を行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5		4つの基本活動を組み合わせかつ、5領域を踏まえた支援を行っています。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		子どもが自己選択できるような活動や遊びを意識して取り入れています。また自己決定を尊重しています。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		児童の状況を十分に把握している職員が参加しています。日頃の支援状況や課題を適切に報告し、情報共有および連携に努めています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		関係機関と必要に応じて情報共有を行い、連携して支援を行う体制を整えています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5		保護者を通して年間計画や行事予定、下校時刻の確認等を行い、適切に情報共有しています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5		関係機関と必要に応じて情報共有を行い、円滑な移行につながるよう連携を図るように努めています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	1	まだ該当児童はいませんが、関連している事業所では実践されています。今後該当する児童がいる場合には、円滑な移行が進められるよう、これまでの支援内容等の情報提供を速やかに行う体制を整えています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5		地域の児童発達支援センターの巡回訪問の際に、いろいろ相談させてもらい、助言をいただいています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	3	外活動で公園を利用する際や公共の施設などを利用した場合に地域の子どもと交流する機会があります。また、送迎時等で他児童とお話する機会があります。	
	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	5			まだ協議会等への参加はありませんが、機会があれば積極的に参加します。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		送迎時や連絡帳、電話での対応でお子さまの様子を伝えさせていただいています。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	2		まだ家族支援プログラムを学ぶ機会に参加したことがないため、参加の機会を作り、その学びを保護者支援に活かしていきたいと考えてます。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		契約時や利用開始日に丁寧に説明を行っています。また、不安な点等も確認し、安心して利用開始していただけるように努めています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		支援計画書を作成する際は、保護者と面談し、保護者や子どもの意向を確認しています。その上でこどもの最善の利益の優先を踏まえた計画書を作っています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5		同意を得てから署名をいただいています。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		送迎時や電話、面談などを通してご家族の相談に適切に応じています。その際、必要な助言や情報提供を行っています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	2	言語聴覚士などの有資格者による支援の際に保護者にも参加していただいています。支援の頻度をもっとあげられると良いと感じます。	現時点では時間を調整することが難しく、まだ保護者同士で交流する機会を設けることができていません。検討いたします。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		苦情などの申し入れがあった場合は、迅速かつ適切に対応し、再発防止のために職員全員でその内容を共有しています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		定期的に通信を発行し、活動概要や行事予定等を保護者に発信しています。また、日々の活動の様子をブログにアップして情報発信しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		個人情報の取扱いについては職員間で周知徹底し、管理しています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		個々の特性や理解度に応じて視覚支援を活用し、わかりやすい言葉で伝えるように配慮しています。また、保護者に対しても丁寧な説明での情報共有を行っています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	3		現在は地域住民を招待する行事は実施していませんが、今後、地域との交流機会の取り組みを検討したいと考えています。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		マニュアル等はそれぞれ作成し、職員間で周知しています。定期的に避難訓練を実施し、その様子を通信やブログに載せて知らせています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		定期的に地震・火事・水害など災害に応じた避難訓練を実施しています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		児童の健康の記録を記載してもらい、契約時や利用開始前に確認をしています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		契約時や利用開始前に確認をしています。対象児童がいる場合は医師の指示書に基づいて対応していきます。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		日々の施設設備点検、防災訓練、職員研修などを事業所で行っています。また、ヒヤリハットの収集・分析を通じて事故を未然に防ぐ安全な支援をするように努めています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携を図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		災害時の緊急メールの発信等安全計画に基づく取組について、家族と連携を図っています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		ヒヤリハット事案が発生した場合は速やかに記録を作成し、職員間で周知し、再発防止に向け話し合いを行っています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		虐待防止研修を年1回以上実施し、全職員が参加できる体制を整えています。また、虐待防止委員会を月1回開催し、支援内容の点検をして組織として虐待防止に取り組んでいます。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		身体拘束は原則行わない方針としており、やむを得ない場合に限り、虐待防止委員会等で検討し決定しています。その際は保護者には目的・方法などを丁寧に説明し同意を得たうえで支援計画書に記載しています。		